

平成23年度 第2回磐田市立図書館協議会会議録

日 時 平成24年2月1日(水) 午後2時55分から午後5時00分まで

場 所 磐田市立中央図書館2階会議室

出席者 委員：青島公悦(会長)、新貝隆世、神谷比登美、宮沢知子、大坪裕子、  
八木正弘、平野富美子、佐野尚男、寺田美代子(以上敬称略)  
(事務局等)

飯田正人教育長

中央図書館：金原伸治館長、鮫嶋篤克補佐、長島雄一郎主幹、松本栄一主幹

福田図書館：大庭紀二館長 竜洋図書館：鈴木良夫館長

豊田図書館：高梨喜由館長 豊岡図書館：早澤一成館長

欠席者 委員：伊藤節夫(以上敬称略)

内 容 以下のとおり

1 開 会(鮫嶋補佐)

本日はお忙しいところ、寒い中、協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。  
最初にお手元の資料の確認をさせていただきます。

- ・平成23年度 第2回磐田市立図書館協議会
- ・(資料の差し替え説明)

ここで、定数の報告をします。

委員10人中9人が出席で、伊藤節夫委員が欠席されておりますが、本日の会議は成立して  
おりますことを報告いたします。

それでは、ただ今から平成23年度第2回磐田市立図書館協議会を始めさせていただきます。

「磐田市審議会等の設置及び運営に関する指針」に基づく、本日の会議の傍聴者はおり  
ませんので報告させていただきます。

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

青島会長よりごあいさつをお願いします。

2 会長あいさつ(青島委員)

みなさん、こんにちは。

毎回、出席率の高い会議を進めさせていただき、御出席について御礼申し上げます。資  
料を見ますと、5館で前年比38,000冊増の貸出、所蔵で840,000冊と立派な成績を収めて  
います。地域住民がしっかりと図書館を認識している。これに皆さんがしっかりと答えら  
れて運用されてきている。そういう実績に基づくものだと思います。

22年と23年では社会状況が違う中で、地震や台風があって影響があるはずですが、そ  
れにも関わらずものすごい伸びです。図書館がバロメータになって、大きな教養・文化を

高めているのではないかと。皆様からのご意見を、図書館がしっかり受け止めていただいた結果であると思います。

皆様の活発な発言を賜りたくお願いします。八木委員には予算を通して、これから図書館をどのように運営するか、方向付けを含めてご指導を賜りたいと思います。

### 3 教育長あいさつ（飯田教育長）

こんにちは。本日はたいへん寒い日になりまして、お忙しい中本当にありがとうございます。学校ではインフルエンザが流行してしまっていて、非常に乾燥しているのでなかなか収まらない状況です。

さて、第2回磐田市立図書館協議会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

青島会長をはじめ、委員各位におかれましては、図書館の運営はもとより、教育行政全般にわたり、ご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

昨年は災害の多い年で、1月の大雪、3月の東日本大震災、それに伴う原発事故、9月には台風被害があり、多くの日本人にとり、人と人とのつながりや絆の大切さをあらためて感じるが多かった年でもありました。その一方で、地震や自然災害等への備えを考え直したり、今まで享受してきた便利な生活を見直すきっかけにもなった年でもありました。今年はずいぶん、希望の満ちた年でありたいと願っております。

さて、昨年の大地震以降、毎日のように原発と放射能のことがニュース等で報道されました。震災関連図書として約700冊が出版され、形態やジャンルも、写真集、復刊本、増補版、ノンフィクション、啓発本、研究書、漫画と様々でありました。図書館でも、全体で386冊を所蔵、うち92冊が最近の購入で、中央図書館では、5月から半年ほど地震災害関連の特設コーナーを設けて情報提供をいたしました。

図書館といたしましては、今後も本として出版されたものに限らず、行政機関や市民団体等の報告書も、広く収集して利用者へ提供すると共に、図書館ができることは何なのか、市民の最も身近な情報提供機関である公の図書館の役割をもう一度考える機会としてとらえていきたいと考えています。

次に、児童サービスにつきましては、優先すべき事業と考え、「子どもたちに読書の楽しさを伝えます」の運営方針の下、児童サービスに力を入れています。このたび、第2次子ども読書活動推進計画が策定できましたので、これに基づき読書を通じて豊かな創造力と、考える力を育み、心豊かな社会の実現につながるよう職員一同、努力をして参りますので、委員の皆様には今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

なお、本日の議題は、平成23年度の間接事業報告や平成24年度の主要事業等について報告があります。

委員の皆様には、忌憚のないご意見等を賜りますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

### 4 議 事

(進 行): 続きまして、議事に入ります。施行規則第17条1項に、協議会の会議は、会

長が議長になると規定されていますので、青島会長に議事の進行をお願いします。

(会長): それでは、御指名ですのでただいまから議事に入ります。審議の間、ご協力をお願いします。

(1)「平成23年度事業中間報告(4月～12月)について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(長島主幹): 4月から12月の9ヶ月間の実績を報告する。

- ・ の「開館日数」の前年度比増は、22年度に約10日間のシステム入替のための休館、豊岡図書館が移転に伴い12月半ばから休館した結果です。
- ・ の「入館者数」は、各図書館の入口にセンサーがあります。そこを横切った数をカウントし、2で割って入館者数としています。豊岡図書館は、昨年比大きく増えています。立地の問題で、人口が集中しているところに移転したため増加になったと思います。
- ・ の「利用者数」は、図書館に来て1冊でも借りたら、1人とカウントするものです。
- ・ の「貸出点数」はだいぶ増えています。3月末までに150万位いくのではないかと。磐田市の規模で150万点位になると、全国的にも上位の数値になります。
- ・ の「蔵書数」は5館で84万点弱。2・3年の内に、各図書館の閉架書庫が一杯となり、これ以上は伸びない。増えた分は、除籍していくようになります。

事業報告の9ページの「所蔵予約」「リクエスト」ですが、Webはインターネットからの予約でまだまだ増えています。予約はインターネットで、図書館には借りに行く時代。リクエストは所蔵のないものを希望した場合、購入したり、他館へ借用したりします。以上です。よろしくをお願いします。

(会長): ただいま23年度の報告をいただきました。何かご質問ありませんか。寺田委員さん何かありませんか。

(寺田委員): 竜洋図書館で入館者数等が減っているのはなぜですか。

(竜洋館長): 入館者数について、原因を精査していますが、なぎの木会館と併設のため、会館のイベントでの時間待ちで図書館に入ることがあります。会館のイベント数や入場者数が減少傾向で、その影響もあります。貸出点数ですが、減少幅が大きいのはコミックで、新しいコミックは購入していませんし、所蔵のものは読み尽くされているのも原因かと。今後も魅力ある図書館づくりに努力していきたいと思います。

(寺田委員): 近くにいて、すばらしいところがどうしてマイナスなのかと思ひまして質問させていただきました。。

(佐野委員): インターネットで福田が多いのはなぜですか。

(福田館長): インターネット利用で話題になりますが、福田の人達がパソコンを持っていな

いではなく、非常にリピーターが多いと思われます。

(大坪委員): 市民の方の産大図書館の利用者数等を報告します。

H21は676人、H22は1,211人・預かり87冊、H23は12月末で1,094人・預かり72冊で、多くの市民に利用され、だれかしら毎日使ってくれています。

(中央館長): 大学図書館でレベルの高い本を借りたいのか。大学図書館の蔵書が借りられる本当にありがたいです。

(八木委員): インターネットで台数を増やしてほしいとか要望がありますか。

(各館): ありませんが、中央では、4・5年前に外国人が国にメールするのに利用していましたが、最近減りました。図書館以外でメールするところが増えたのかわかりませんが。

(大坪委員): 図書館HPでデータベースの紹介をしています。現在は、大学関係者のみ利用でき、市民から希望されることもありました。市立図書館としては、日経テレコム・静岡新聞との契約はありますか。

(中央館長): 静岡新聞のデータベースはあります。レファレンスで使用しています。

(会長): それでは、「平成23年度事業中間報告(4月～12月)」について、以上で終わります。次に、(2)「平成24年度市立図書館運営の概要について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(金原館長): 「平成24年度市立図書館運営の概要について」について説明。

基本方針及び運営方針ですが、22年度に定め、期間は5年間としました。

基本方針は、「市民に役立ち、市民とともに歩む図書館をめざします」

運営方針は、

「くらしとまちづくりに役立つ図書館をめざします」

「子どもたちに読書の楽しさを伝えます」

「資料・情報とそれを求める市民を結びます」

「図書館サービスを利用できる機会を広げます」

#### 平成24年度主要事業の概要(予定)

市民に役立ち、市民とともに歩む図書館をめざすため、中期目標の各種サービスの充実、業務の効率化、施設の安全適切な管理の3点を重点に、5館によるネットワークを最大限活かした図書館運営をめざします。

主要事業については、行財政改革の視点から事業の見直し統合を図るとともに、施設の地震対策や空調設備の更新等を実施します。また、職員の能力・スキルの向上を図るため、研修派遣・OJT・自己研鑽等を通じて人材育成に努めます。

#### 【主要事業(事業費ベース)】

図書館資料整備事業(中央・福田・竜洋・豊田・豊岡)

資料収集・整理・保存、蔵書管理の一体的管理へ

読書活動推進事業

子ども読書活動推進事業（ブックスタート・茶の間読書・親子読書）

図書館視覚障害者サービス事業

図書館展示室活用事業（中央・豊田）

図書館公開講座開設事業（中央・豊田）

文学講座・16ミリ映写技術講習会・天体観測会

施設管理事業（中央・福田・竜洋・豊田・豊岡）

図書館施設地震対策事業（中央・福田）

5年間の中期目標・重点事業（平成22年度～平成26年度）

(1) 各種サービスの充実

・インターネットによる情報提供サービス等

(2) 資料の充実と活用

・一般資料、行政資料、地域資料の充実、電子書籍への対応及び地域資料等の電子化

・雑誌の充実（スポンサー制度の導入による雑誌の充実）等

(3) 子どもの読書環境の充実

・「磐田市子ども読書活動推進計画 第2次計画」の策定

・学校図書館への支援等

(4) 図書館利用が困難な人々へのサービス

・障害を持つ人やその介護にあたる人のための資料の充実・提供等

2 管理運営ですが、順番を決め財政当局と打合せの上、進めていきます。

(1) 5施設の維持管理（修繕・地震対策工事等）

・ガラス窓飛散防止工事（中央・福田・竜洋）

・大規模空間吊り天井補強工事（中央・福田・竜洋・豊田）

・空気調和設備更新工事（中央・豊田）は、3年ぐらいかけて更新

(2) 図書館システムの向上

・図書館システムの円滑な管理運用等

(3) 他図書館（公立図書館・大学図書館など）専門機関との連携と協力

・中東遠地区広域図書館業務提携（6市町住民の相互利用）等

(4) 図書館職員の能力向上

・専門的能力向上のための研修派遣等をやっていきたい

以上です。

（会長）：ただいま「平成24年度市立図書館運営の概要について」について説明がありました。何かご質問ありませんか。神谷委員さん何かありませんか。

（神谷委員）：学校図書館部の担当もしています。東小のように離れている学校に、移動図書

館等の方法をとっていただき、子どもたちが楽しみにして、何冊も借りている現状があります。国語の授業、全ての教科に図書が重要な役割を果たしています。図書館の充実が欠かせないものとして課題としてあるときに、図書室の本の充実、それに係わる人が必要となります。市の5ヵ年計画では学校司書は100%とありますが、巡回で回ってきているだけで、浜松市では常駐です。県も100%を目指しています。図書館・協議会もバックアップをお願いします。

(中央館長): 学校司書の力は必要。学校図書室が開いていることは大事。厳しい状況の中で、支援できることは今後もやっていきたい。

(教育長): 竜洋ではボランティアを多少活用しています。

(平野委員): ボランティアだけでは難しい。司書教諭が忙しいので丸投げしやすい。図書館が仲介してくれたら。教育委員会でもバックアップをお願いします。

(宮沢委員): 磐田地区の学校図書館部の部長をやっています。学校司書が1週間に半日から1日来てくれるようになりました。司書教諭が図書室の中だけでなく、授業にも手伝ってもらいました。子どもたちも茶の間の本を楽しみにしています。1年で100冊読んだ子がものすごく多い、本が好きになった子もいて続けて欲しい。

(佐野委員): 中東遠提携はどこまで使えるのですか、何ができるのですか。

(長島主幹): 5市1町で、地元の図書館を利用している図書カードと、身分証明できるものを持って提携の市町にいけば、その図書カードが作れ、自分が直接借りることができ、返すのも借りた図書館となります。

(平野委員): いままでカードの更新はしていなかったが、今はありますか。また、私は17時以降に利用します。夜間17時以降19時までの利用はどうか。

(長島主幹): カードの更新は、システム更新時から10年を過ぎた誕生日から実施するようになりました。利用状況は、カウンターをやっている感覚では、予約の本を取りに来る人がかなり多く、調べもの・勉強等は少ないです。

(会長): 新貝委員さん何かありませんか。

(新貝委員): 特にありません。

(会長): それでは、「平成24年度市立図書館運営の概要について」を以上で終わります。次に、(3)「磐田市立図書館条例の一部改正について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(鮫島補佐): 「磐田市立図書館条例の一部改正について」を説明。

改正の主な点について2点あります。

・「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の公布に伴い、上位法の図書館法第15条で定められている図書館協議会委員の選出基準「学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から」を条例で明文化するものです。現委員は、図書館法に基づき選出されていますので影響はございません。

・条例の一部改正に伴い、条例の整備を図るため、磐田市立図書館条例施行規則で規定していたもののうち、第4条で「開館時間」を、第5条で「休館日」を規定するものです。規則から条例へ移管するものです。

竜洋図書館では、2日開館日が多くなるが、職員は出勤しており影響はありません。

少しでも市民サービスに繋がればと考えています。8ページに改正による委員の選出区分の変更を掲載してあります。

施行日は、平成24年4月1日からです。

(会長): 改正による図書館利用者にとってマイナスになることは全くないと思います。特別なご意見がありましたらお聞きします。それでは、「磐田市立図書館条例の一部改正について」を以上で終わります。

最後に、(4)「その他」について事務局より説明をお願いします。

(松本主幹): 「雑誌スポンサー制度の現在の状況について」を報告。

この制度は、財源の確保及び地域経済の活性化を図るため活用するものです。

具体的には、1年間の購入費用を負担していただき、提供していただいた雑誌の新刊号カバー表面にスポンサー名と雑誌裏面及び雑誌架にスポンサー広告の掲載ができる制度です。

掲載状況は、14ページの上段のようになります。

平成23年6月1日から雑誌スポンサーの受付を開始し、県内で2番目の実施となりました。ちなみに、1番目は島田市です。

#### 【募集活動】

- ・市及び図書館のホームページに掲載
- ・市産業政策室主催の企業訪問に同行し制度の説明及びチラシの配布
- ・市商工会本所及び支所へ訪問し制度の説明及びチラシ配布の依頼等

#### 【実績(12月末)】

- ・スポンサー 11社
- ・雑誌数 21種類 30冊
- ・負担額 215,666円

#### 【効果】

- ・雑誌購入費の減
- ・各図書館での雑誌の増加  
中央3冊、福田2冊、竜洋1冊、豊田1冊、豊岡2冊 計9冊  
掛川市は6社・3館で10冊、島田市は12社3館で26冊です。  
以上です。

(会長): 続いて、「電子書籍モニターの実施結果について」をお願いします。

(長島主幹): 「電子書籍モニターの実施結果について」を報告。

7月から10月末に静岡県立中央図書館が実施主体となり、県内の公立図書館4館がモニター館となり、一般利用者にパソコンを使った電子図書を体験して

いただく実験を行いました。同時に、体験していただいた利用者に、アンケートを実施しました。

4館とは、沼津市・富士市・浜松市はまゆう・磐田市です。

磐田市では、71名の方に体験していただき、53名の方にアンケートに回答していただきました。

体験した感想は、返却がすぐできるからよい。書籍の読み込みが遅い等。

利用したい理由は、蔵書数が増えスペースが広がる、本は本の状態であるべき等。

また、電子書籍巡回展示会アンケート結果ですが、スマートフォン・アイパッド等の体験を、袋井市・熱海市・県立図書館・磐田市で実施しました。

磐田市では、354名の方に体験していただき、55名の方にアンケートに回答していただきました。

体験した感想は、すごく便利。保存がどうなるか不安。本を選んだりページをめくる等が簡単にできた。たいへん便利等。

利用したい理由は、本は重たい。持ち運びが楽等でした等。

電子書籍を、磐田市独自だけでは進めていくには非常に難しい面があり、静岡県立図書館と協力しながら進めていくようになります。

静岡県図書館協議会は、24・25年度の2ヵ年をかけて研究をしていくことになっています。磐田市として、県の研究に積極的に係わっていく。24年度に郷土資料の電子書籍を作る等です。

(会長): ただいま報告がありました。他に、事務局よりなにかございますか。

(事務局): ありません。

(会長): 以上で、本日の議事をすべて終了いたしました。ありがとうございました。

## 5 閉会(鮫嶋補佐)

青島会長、議事進行ありがとうございました。

本日の協議会も、皆様方のご協力により予定どおり進行できましたことお礼申し上げます。長時間ご協議ありがとうございました。

今後とも、図書館を取り巻く行財政環境は、益々厳しいものになっていくと予測されますが、「市民と共に歩む」図書館づくりに職員一丸となって努力して参りますので、皆様方にも引き続きのお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。第2回図書館協議会を閉会します。

なお、平成24年度第1回の協議会は、6月15日前後を開催予定しております。

予定通り本日の次第を終了したので、散会した。

以上



